

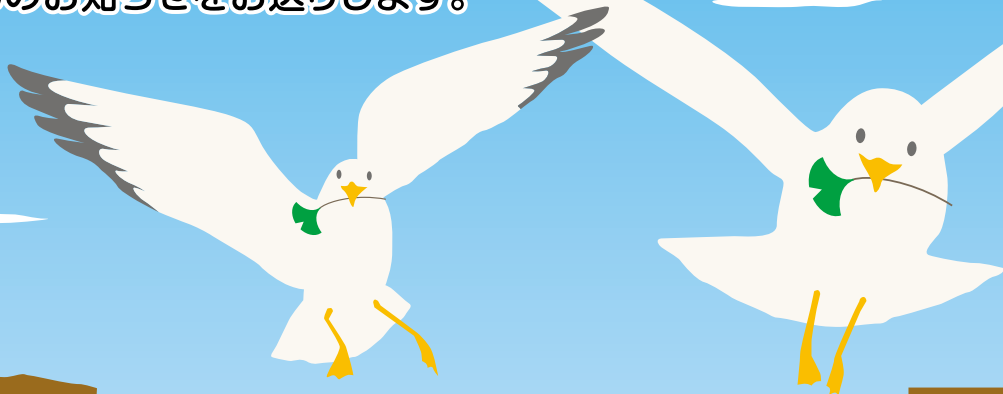
都内避難者の皆様への 定期便

2019

2月号

NO.157

都内に避難されている皆様へ、
東京都からのお知らせをお送りします。



都営住宅の募集について (平成31年2月) (P1~2)

平成31年2月の都営住宅定期募集案内と、
よくお寄せいただく質問にお答えします。

ふるさとのお知らせ (P5~6)

ふるさとの今をお知らせします。今月は福
島県からです。

司法書士による面談・電話相談の ご案内 (P8)

東京司法書士会が実施する法律相談のご案内
内です。

都内に避難されている皆様への アンケートについて (P3~4)

都内に避難されている皆様へのアンケート
について、昨年度のアンケート結果のお知
らせと今年度のご協力をお願いします。

現地の応援団より (P7)

東北で働く応援団をご紹介します。今月
は、宮城県内に派遣されている東京都職員
からです。

東京しごとセンター (P9~10)

東京都が実施する就労相談などのご案内で
す。

次号の発送は、平成31年3月1日を予定しています。

都営住宅の 募集について

平成31年 2月

都営住宅の募集が実施されます。

▶ 募集日程（予定）

平成31年2月4日(月曜日) ～

13日(水曜日)

今回の募集は、家族向【ポイント方式】、単身者向・シルバーピア【抽せん方式】となります。

申込書は募集期間中（土・日・祝日を除く）に限り東京都住宅供給公社都営住宅募集センター、各窓口センター、都庁、区役所、市役所、町村役場で配布します。

■ 今後の都営住宅「定期募集」年間募集予定

募 集 時 期	対 象 者
平成31年 2月上旬	◆家族向【ポイント方式】
平成31年 8月上旬	◆単身者向・シルバーピア【抽せん方式】
平成31年 5月上旬 入居資格緩和 抽選倍率の優遇（避難者特例）	◆家族向・単身者向等【抽せん方式】 ・家族向・単身者向（一般募集住宅） ・定期使用住宅（若年夫婦・子育て世帯向）
平成31年 11月上旬 入居資格緩和 抽選倍率の優遇（避難者特例）	

※抽せん方式の募集では、病死の発見が遅れた住宅等も掲載する予定です。

※シルバーピアは、都内に3年以上居住している65歳以上の単身者や夫婦世帯を対象とし高齢者向けの設備仕様を備えた高齢者集合住宅です。

(注)入居までの期間については住宅によって違いがありますが、申込後、おおよそ5か月～1年後、あき家の発生状況によっては、これ以降になる場合もあります。

■ 平成30年度 家族向「毎月募集」

毎月中旬頃、主に若年夫婦・子育て世帯向等に募集します。申込資格等の詳細は、毎月募集の募集期間にご確認ください。詳細は別紙チラシもご覧ください。

申 込 方 法	対 象 者
申込書及びパンフレットは東京都住宅供給公社のHPに掲載しますので、申込書をダウンロードし、郵送でお送りください。*	都営住宅の入居基準を満たし、かつ以下の世帯 1. 若年夫婦・子育て世帯 2. 都営住宅の定期使用許可日から5年が経過した世帯 3. 事業再建者世帯（5年間の期限付き） 4. 東日本大震災等の被災者世帯

※下記の場所で申込書等を受け取ることも出来ます。

- ・都庁第二本庁舎13階中央募集相談窓口
- ・東雲住宅公社現地事務所2415号室
- ・東京都住宅供給公社（都営住宅募集センター・各窓口センター）
- ・都内避難者相談拠点（飯田橋セントラルプラザ5階、訪問の際は事前に0120-978-885までご一報ください。）

都営住宅の募集について、よくお寄せいただく質問にお答えします

Q. どの地域の都営住宅の応募倍率が低いのですか？

A. 倍率は常に一定しているとは限りませんが、平成30年2月の定期募集において、平均倍率が比較的良かった区市町を一部ご紹介いたします。

○ポイント方式

区部

所在地	募集戸数	申込者数	倍率
足立区	81戸	424名	5.2倍
葛飾区	72戸	507名	7.0倍
練馬区	64戸	560名	8.8倍

市部

所在地	募集戸数	申込者数	倍率
瑞穂町	9戸	3名	約0.3倍
町田市	93戸	96名	約1.0倍
稲城市	11戸	12名	約1.1倍

注 台東区は倍率8.0倍でしたが、募集戸数が1戸であったため記載していません。

○抽選方式

単身者向け

所在地	住宅名	倍率
江東区	東砂七丁目	約2.0倍
足立区	花畑第4	約3.7倍
北区	稲付第2	約4.0倍

シルバーピア（単身者向け）

所在地	住宅名	倍率
東大和市	東京街道	約15.0倍
板橋区	西台一丁目	約18.0倍
三鷹市	中原三丁目	約21.0倍

シルバーピア（二世帯向け）

所在地	住宅名	倍率
立川市	上砂町一丁目	約14.0倍
江戸川区	南篠崎町五丁目	約18.0倍
多摩市	多摩ニュータウン愛宕	約23.0倍

～ 都営住宅の要件に当てはまらない方は～

公社住宅では、先着順による空き家募集を引き続き行っています。
お申し込みを随時受け付けていますので下記までお問合せください。

東京都住宅供給公社 公社住宅募集センター 移転相談専用窓口

専用ダイヤル 03-6812-1350

※インターネット（JKKねっと）でもお申し込みできます。

問合せ先

JKK東京〈東京都住宅供給公社〉都営住宅募集センター

電話

03-3498-8894

午前9時から午後6時
(土・日・祝日を除く)

URL

<http://www.to-kousya.or.jp/toeibosyu/>

東京都内に避難されている皆様へのアンケートについて

今回もご協力をお願いします

●ご協力のお願い

東京都では毎年、この時期に皆様の近況や今後のご予定を伺うためにアンケートを実施しております。

今月号の定期便にアンケート調査票を同封しておりますので、2月28日（木曜日）までにご回答をお願いいたします。

度々お手数をお掛けし恐縮ですが、ご協力を頂ければ幸いです。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 昨年度のアンケート結果と活用法について ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

昨年度、ご回答いただいた内容につきましては、集計結果を岩手県、宮城県、福島県及び都内区市町村等の関係行政機関にも提供し、それぞれ連携しながら施策に役立ててきました。

昨年度のアンケートの結果と今年度の取組について簡単にご紹介します。

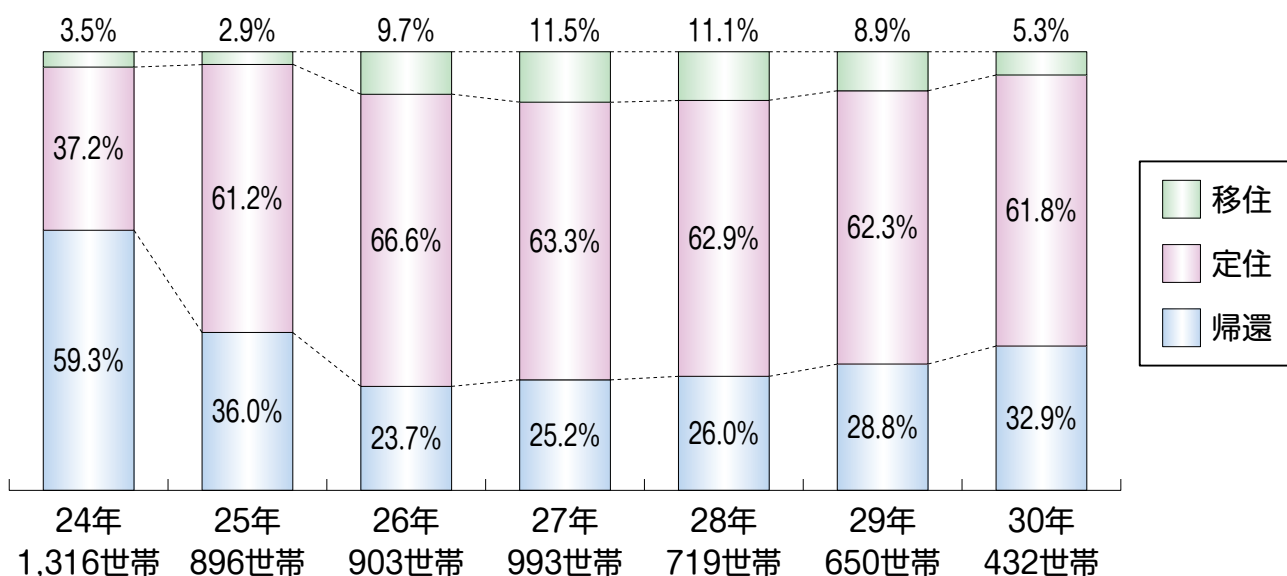
※ アンケート結果の詳細については、ホームページでご覧になれます。

都内に避難されている皆様へ [検索](#)

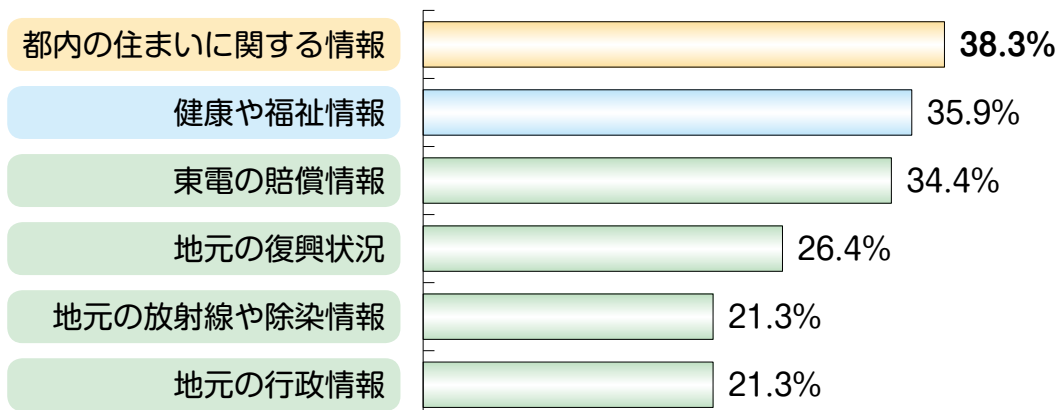
昨年度のアンケート結果

今後の居住先について (単数回答)

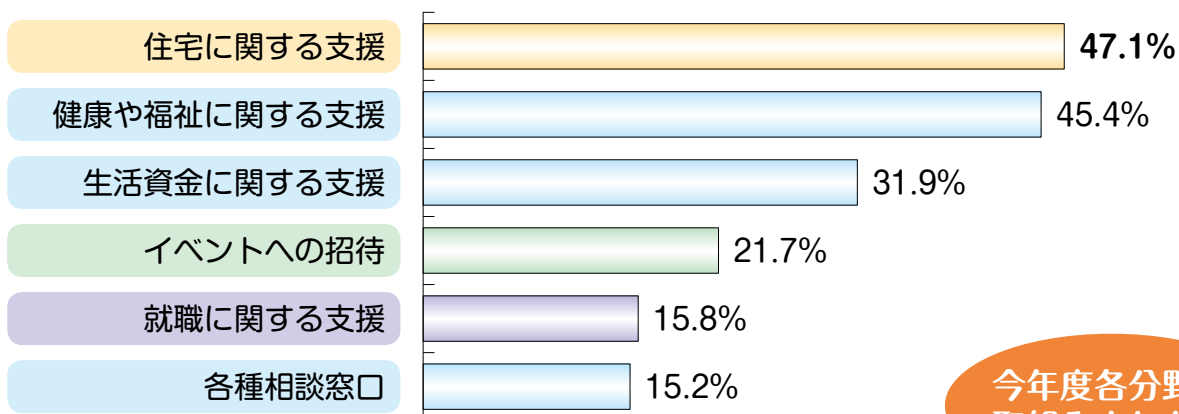
- 地元県内に戻りたいと考えている方(帰還)の比率が引き続き微増したものの、都内に定住を考えている方(定住)の比率が6割超と最も多い(前回と同様)



ご自身にとって有益な情報 【複数回答 (n=535)】



今後期待する支援策 【複数回答 (n=526)】



今年度各分野で
取り組みました

住宅に関すること

- ⇒ 応急仮設住宅が終了する方への都営住宅入居者募集（専用枠）を実施
- ⇒ 都営住宅定期募集や毎月募集を「定期便」でお知らせ

健康・福祉に関すること

- ⇒ 区市町村、社会福祉協議会と担当者連絡会を開催、情報を共有
- ⇒ 「都内避難者相談拠点」で相談受付、専門の相談窓口のご案内

情報提供の充実

- ⇒ 「定期便」で月替わりの岩手県、宮城県、福島県復興状況などをお届け
- ⇒ 原子力損害賠償に関する相談会や各種イベント情報などのお届け

就職に関すること

- ⇒ 「東京しごとセンター」での就職支援、「東京都緊急就職支援事業」を実施

●お問合せ先

東京都総務局復興支援対策部都内避難者支援課 ☎ 03-5388-2384

ふるさとからのお知らせ

今月は福島県からお知らせします。

ふくしま避難者交流会を開催しました！！

昨年12月9日（日）に東京国際フォーラムにて、「ふくしま避難者交流会」が開催されました。

当日は64名が参加され、内堀福島県知事や福島県内市町村職員などと思い出話に花を咲かせました。また福島県立いわき総合高校の生徒によるフラダンスショー、避難されている方が製作した小物類や絵画等の展示も行われました。



会場の様子



小物類や絵画等の展示

問 福島県避難者支援課 ☎ 024-523-4157

県外避難者のための心のケア訪問を開始しました

11月から、福島県外に避難されている方へ向けた心のケア訪問事業を開始しました。体や心の不調、避難生活の悩みがありましたら、看護師などがお宅に訪問をし、心身の健康についてお話を伺います。まずはお気軽にご相談ください。

【対 象】 福島県から県外に避難されている方

【訪問受付】 一般社団法人 日本精神科看護協会（委託先）

☎ 0120-357-257（平日 午前8時～午後5時）

※電話相談をご希望の場合は

ふくしま心のケアセンターの被災者相談ダイヤル「ふくここライン」

☎ 024-925-8322（平日 午前9時～午前12時、午後1時～午後5時）

をご利用ください。

問 福島県障がい福祉課 ☎ 024-521-8204

県民健康調査 甲状腺検査のお知らせ

福島県では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、子供たちの健康を長期的に見守るために、甲状腺検査を実施しています。

**【対象】 震災時に福島県内にお住まいだった方で概ね18歳以下であった方
(平成4年4月2日～平成24年4月1日生まれの方)**

※震災後に生まれたお子様については、母親の居住地等の確認をさせていただく場合があります。

対象者として登録されている方には、検査のお知らせをお送りしております(※)が、転居などによりお手元に届いていない場合があります。お住まいやお名前が変わった場合、または、検査のお知らせが届いていない場合など、甲状腺検査に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

※20歳を超えるまでは2年に1回、25歳以降は5年に1回の間隔で送付しています。

問 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターコールセンター

☎ 024-549-5130 (午前9時～午後5時 土日・祝日・12月29日～1月3日を除く)

メール: kenkan@fmu.ac.jp

福島県の情報をもっと知りたいという方へ

福島県では、県内外に避難されている皆さまへ避難者支援の取り組みや福島県の復興に向けた動きなど、福島県の今が分かる情報を掲載した「ふくしまの今が分かる新聞」を発行しています。

WEB版もご用意しておりますのでこちらでもご利用ください。

福島 今が分かる新聞

検索



<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-wakarusinbun.html>

問 福島県避難者支援課 ☎ 024-523-4250

現地の応援団より

東北で働く応援団をご紹介します。

今月は宮城県内に派遣されている東京都職員からです。

私達は、東京都から宮城県土木部気仙沼土木事務所に派遣され、道路や堤防等のインフラに関わる用地買収を担当しています。気仙沼土木事務所は気仙沼市と南三陸町を管轄しており、県職員70名、派遣職員17名、総勢87名が被災地復興に日々取り組んでいます。様々な箇所で復興に向けた工事が行われており、それらの現場を見て、日々姿が変化している工事の早さに驚き、そして復興へ着実に進んでいるということを実感しています。

私達が用地買収を担当している南三陸町では、国、県、町の三者が復興に向けた工事を行っており、町の日中心地では広範囲で大規模な工事が行われています。東日本大震災からまもなく8年が経ち、津波によって甚大な被害を被った町の復興も進み、町の風景は時の流れとともに大きく変わってきています。ただその変化の中で、震災時に悲劇の舞台となった旧防災対策庁舎は震災遺構として整備がなされ、津波による当時の被害を今もなお物語っています。

復興が進み、道路等のインフラ設備、そして商店街等も整備されるにつれて、かつての町にあった活気が戻りつつあります。震災復興期間も残り僅かとなり、復興に向けた工事もういよいよ大詰めとなってきています。一日でも早くその復興工事が完了できるよう微力ではありますが、少しでも貢献ができるように残りの期間も全力で復興支援に取り組んでいきます。



航空写真（2018年8月）



さんさん商店街



旧防災対策庁舎

宮城県気仙沼土木事務所 東京都派遣職員
高山 真登・成田 昌彦・東海林 堯